

きれいな町 柏を

クリーン作戦を展開

ゴミ処理・不法投棄に積極策

市民の快適な生活環境づくりのひとつに、ゴミのない美しい町づくりがあります。「くさいものにはフタ」の故事にもあるように、ゴミは従来やもすると「きたないもの」「早く処分したいもの」と、避けて通る風潮がありました。しかし、根本的にもこうした問題に鋭いメスを入れ、積極的な姿勢で取り組んで行かねば問題は解決されません。このため市では、現在のゴミ収集システムの変更、紙袋収集の実施、山林や宅地の不法投棄の監視強化、違法な屋外広告物の取り締まりなど、柏の町をきれいに「クリーン作戦」を進めようとしています。

ゴミのないきれいな町「柏」をつくるために、今市では担当の衛生部清掃管理課を中心として、積極的な対応策に真剣に取り組んでいます。

道路や下水に散乱する紙くずや空き缶、緑したたる山林やあき地を汚す心ない不法投棄のゴミの山、駅前再開発によってできあがった広場に、ベッタリはられた許可のないハリ紙、市内のあちこち

ゴミは人間が「豊かな生活」を著す。このゴミが今度は私たちの生活に多大な悪影響を及ぼし、美観や衛生上からも、大きな圧迫をもたせて我々に挑戦する結果になっています。

着眼。このゴミが今度は私たちの生活に多大な悪影響を及ぼし、美観や衛生上からも、大きな圧迫をもたせて我々に挑戦する結果になっています。

青年会議所等も支援体制 柏生活クラブ

こうした趣旨に賛同して、市民団体も積極的な支援体制をひいています。その一つ柏青年会議所(会員四十七名、理事長増谷中志氏)では、ことしの予算に二百万円を計上。美化運動の啓もうと実践をはかる意味から各種の座談会やP・Rの徹底、さらに子どもを通して母親の認識を深めようとする「子どもの清掃工場見学会」などを行ない、町の美化推進に大きく貢献しています。



ゴミの処理方法を理解しようと清掃工場で係員から説明を受ける子ども会会員(写真は青年会議所提供)

また主婦による市民サークル柏生活クラブ(会員四十名、代表早川米子さん)でも、台所をあずかる主婦の立場からゴミ問題に真正面から取り組み、別項に掲げた宣言を自ら実行するとともに、市民への協力を呼びかけています。

私たちが協力

市民は訴える

「ゴミ戦争」とか「ゴミ公害」といふことばが最近よくいわれるようにゴミは隠されるものではなく、大きな社会問題としてクローズアップされてきています。東京では大騒ぎしているけれど、柏はまだ大丈夫などこのんびりかまえてはいられません。ゴミは積ればかけがえのない自然環境を汚し、紙やプラスチックなど大切な資源を無駄に捨てられてしまうことでもあります。柏市民ひとりごとで、100グラムのゴミを減量すれば年間500円分の税金が浮くことになるそうです。私たちのちよつとした心遣いが税金の無駄使いを防ぐことにつながります。

柏では人口の急増により、これまでの埋立て処理が困難になり、昨年6月から可燃物と不燃物を別々にして出すご存知の分別収集に切り変りました。それから10ヶ月を経過していますが、実状はどうでしょうか。柏生活クラブでも船戸の焼却炉と山高野の埋立て地を見学しました。6億もの税金を費して造りだした焼却炉には空き缶やビニールなどの不燃物の大量に混入して炉を痛め、有毒ガスを発生原因になっていました。埋立て地では台所ゴミなどが不燃物にまぎって捨てられているため悪臭を放ち、付近の住民を苦しめています。柏生活クラブでは市内の業者や行政に少しでもゴミ公害から私たちを守るためのいろいろな要望を出してきていますが、それと共に私たち市民もひとりひとりがもつゴミについて考え協力しなければならぬように思われます。うんと次のようなことには注意して私たちのまわりの住みやすく努力しましょう。

- 水が多いゴミは収集しにくい。焼却炉では燃焼をさまたげます。もう一度水気が切れていぬかよく確かめからすましょう。
- ゴミ入れは可燃物用と不燃物用必ず2つ用意(きちんと分別してからすましょう)。
- 物を大切に使い、すぐ前にもう一度かき直す工夫をしましょう。
- ダンボール、古雑誌、新聞などは、切り紙交換や廃品回収に出して再利用してもらい、少しでもゴミを減らしましょう。
- プラスチックの卵パックは10月又は5月で回収し再利用しているお店があります。利用がたい空き缶(ジュースなど)は3割は残ったまま捨てられているものが多いそうです。全部空にしてからすましょう。
- ゴミ公害になるような過大、過剰包装してあるものは買わないようにしましょう。
- ゴミ収集車がきたら「ごくろうさま」の一言を。

市民の皆さんへ

柏生活クラブ

※消費生活の向上を目的に昨年結成された柏生活クラブ(会員主婦40名、代表 早川米子さん)が市民にアピールした「ゴミ宣言書」から

不燃ゴミ収集 月二回に 六月からは紙袋収集を

現在のゴミ収集、可燃物週三回、不燃物月一回(一部地域を除く)を、可燃物は従来どおり週三回、不燃物月二回にあらため、収集間

ています。「ゴミ戦争」という言葉のゆえにも、こんなところから

出たのではないのでしょうか。ふえ続ける一方のゴミの量は、昨年未からの石油危機によって資源の節約、再生利用に対する市民の関心が高まり、やや減量化への傾向にあります。

市ではこの機会をとらえて、ゴミ収集の変更、不法投棄のパトロールと取り締まりの強化、違法な屋外広告物の撤去など、多面的な施策を講じ、市民の理解と協力を得て、快適な環境づくりに取り組んで行こうとしています。

不法投棄にパトロール 悪質者に厳しい処分

悪質者に厳しい処分

家庭で処理できない不燃物(もえないゴミ)や大型ゴミが依然として不法に捨てられています。その大部分が、家を新設したり増改築によって出る廃材やコンクリート、電気器具類です。投げ捨ての多い場所は、これから雑草がのび茂る空地とか山林といった土地の所有者の管理が十分

にされていない所がほとんど。このように山林や空地に捨てられるゴミが、町を汚す原因になっていることから、常に不法投棄の防止や事後処理の強化に努めます。このため市では、六十七万円でパトロール車を購入し、出動の体制をひきます。悪質な不法投棄者

には、告発などの強い方針で望む方針です。現場を目撃された場合は、第二清掃事務所(31-790-0001)に通報ください。

市内の道路や電柱などに、無許可の看板やはり紙がたたくさんみられ、町的美観や通行のじゃまになっています。

広告物の表示は、特別なものを除き、千葉県屋外広告物条例によって許可を得なければ掲示できないことになっています。柏駅前広場や歩道橋など公共の高架構造物には表示できないことになっています。

広告物については不明の点がありましたら、建設部監理課(内線二五三)にお問い合わせください。

総額百九十九億円余

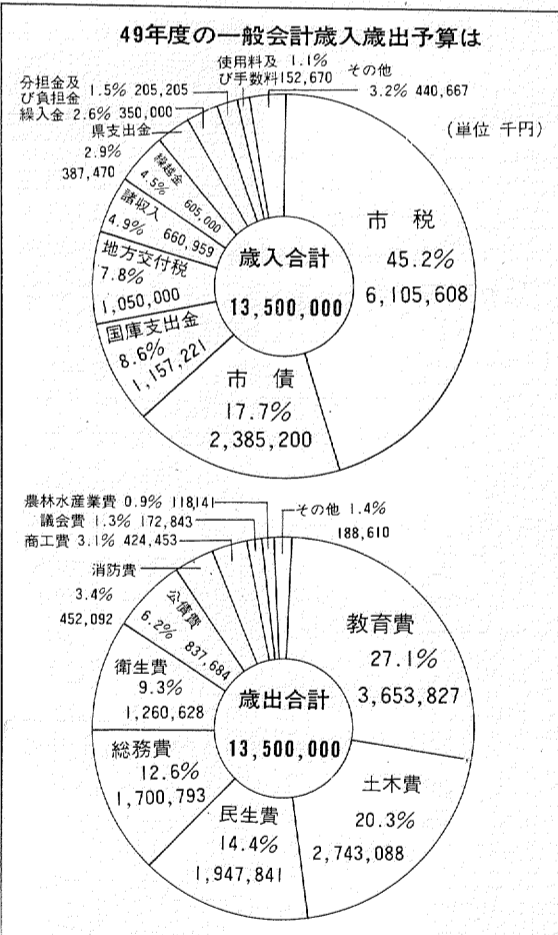
人口の急増を反映して

総額百九十九億七千四百三十万円の昭和四十九年度予算は、三月定例市議会にて可決成立しました。それによると、一般会計予算は、百三十五億円、昨年度当初に比べて三十四億九千八百八十万円ふえ三十五%増。下水道を含む特別会計は、六十四億七千四百三十万円。この特別会計は、昨年度で柏駅西口土地地区画整理事業と地域開発事業が終了して九特別会計となっているもの、下水や北柏駅南口土地地区画整理事業の本格化などによって昨年度当初より十億八千九百八十五万円ふえ、増加率二十・二%の伸びを示しています。総需要抑制策による国の予算に比べこのように高い伸びをみせた今年度予算は、市民の福祉施策に重点をおき、生活の安定と、市民の身近な要求に応えようとする積極的な姿勢のあらわれといえます。今号では、この予算が市民生活の、何に重点を置いて予算化されたか、また、そこにもり込まれた具体的施策をみてみました。

の減税、小規模宅地の負担軽減などが見込まれているものの市税が六十一億五千六百八十八万円で全体の四十五・二%を占め、次いで市債二十三億八千五百二十万円の十七・七%。国庫支出金十一億五千七百二十万円の八・六%。増加額では、市税がトップ。以下、市債、繰越金の順で、国庫支出金は公共事業の抑制などで逆に減額しているが目立ちます。

歳出の性質別では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、四十七億二千七百三十三万六千円で昨年度より三十九・六%の伸び。生活環境や道路下水などの整備に必要な投資的経費は、十五億四千七百四十四万三千四百八十八円の伸びを示しているもの、国の公共事業の繰り延べなどの抑制策に沿って、昨年度当初より〇・一%減少しています。次に下水道事業を含む九特別会計予算総額は、六十

四億七千四百三十万円。昨年度当初と比べて十億八千九百八十五万円増加。二・二%の伸び率となっています。この伸びの主なものでは、国民健康保険事業が、医療費改定などに伴う療養給付費の増加で昨年度の四十七・八%増。下水道事業では、北柏公園に關連した公共下水道と都市下水路の新しい事業によって六五・八%の増。北柏駅南口土地地区画整理事業では、本格的な工事の進展で百三十八・一%の大幅な増加をみせています。



予算の優先

今年度の一般会計予算規模は、百三十五億円と、昨年度に比べ三十五%の伸びを示し、国や県のそれに比べて非常に高い率を示す結果になっています。この特徴として、柏市が人口急増都市としての特殊性があること。これに関連して、公園、緑地、道路などの生活環境整備や義務教育施設など市民生活に直結するものの整備を最重点にしていること。さらには最近の物価の高騰で建設資材や用地買収費が大幅な増額を余儀なくされたためのもとなつています。こうした反面、清掃料、保育料、文化会館や営平かしわ荘の使用料など公共料金は、一部受益者負担金のものを除きほとんど据え置く措置をとっています。

このような特徴を背景に、一般会計予算内容の主なもの(歳出)は、教育費の三十六億五千三百八十二万七千円で全体の二七・一%。土木費が二十七億四千三百八

万八千円の二二・三%。民生費が十九億四千七百八十四万一千円で一四・四%。次いで総務費が十七億七千九百三十三万二千六百六十九円。このうち昨年度増加率では民生費の五十六・五%と大幅な伸び。次に商工費の四十九・七%、衛生費の四十六・三%になっており、市民福祉施策に十分配慮した予算といえます。

これを歳入面で見ると、住民税が年間十二万円以下の家庭で六歳未満の乳幼児が七日以上入院した場合、その医療費は全額市費で負担することになります。これに要する経費など一千三百三十二万二千円を計上しています。

乳幼児の無料化を拡大

衛生費 医療費の無料化を拡大

▽保健センター用地取得。日曜休日診療を行う施設として用地取得費五千万円を計上しています。

▽ゴミ処理場の強化。尿はくみ取り収集間隔を従来の月一回からさらに前進させるため、五台の尿車を購入。じん排は、不燃

清掃処理体制を強化

衛生費 医療費の無料化を拡大

ゴミの収集を月二回に改善して、大型ゴミの収集に対処するため四台を増車。これらに五千二百三十三万二千円を予算化しています。

▽廃棄処理場汚水処理施設の建設。総事業費は二億一千八百八十九万。昨年度から三カ年連続で建設中です。今年度は一億二千九百九十一万円を予算措置しています。

▽尿処理場施設の整備。市内篠籠田にある尿処理場の処理能力を強化するため、二千三百十

円を計上しています。

▽幼稚園就園奨励費の増額。お子さんを幼稚園に通わせている家庭の経済的負担を軽減するため、就園奨励費を増額しています。認可幼稚園には、いままで年一人当たり二千円から三万円を支給していましたが、これを所得に応じて六千円から三万円まで支給します。無認可幼稚園にも従来の千円から一

生活関連を最重点に

新年度予算編成につきましてはまず予算編成の背景となります。経済見通しと、その中で果たす、行政の役割は、激動する内外の情勢の中で非常にきびしいものとなり、国民生活に少な

型の予算編成となり、地方財政にも同調を促してきており地方財政計画も対前年比一九・四%の伸び率にとどまっております。このように国・地方を問わず当面総需要抑制に総力を結集し

加の一途をたどり、しかも多種多様にわたっております。したがって社会経済の変動と住民意識の本来の需要に対応して活力ある福祉社会建設のため、今後とも最大の努力を傾注していく所存

あります。このような観点から、長期

市立図書館建設へ 小中全校に屋体・プール

△幼稚園就園奨励費の増額。お子さんを幼稚園に通わせている家庭の経済的負担を軽減するため、就園奨励費を増額しています。認可幼稚園には、いままで年一人当たり二千円から三万円を支給していましたが、これを所得に応じて六千円から三万円まで支給します。無認可幼稚園にも従来の千円から一

△幼稚園就園奨励費の増額。お子さんを幼稚園に通わせている家庭の経済的負担を軽減するため、就園奨励費を増額しています。認可幼稚園には、いままで年一人当たり二千円から三万円を支給していましたが、これを所得に応じて六千円から三万円まで支給します。無認可幼稚園にも従来の千円から一

△幼稚園就園奨励費の増額。お子さんを幼稚園に通わせている家庭の経済的負担を軽減するため、就園奨励費を増額しています。認可幼稚園には、いままで年一人当たり二千円から三万円を支給していましたが、これを所得に応じて六千円から三万円まで支給します。無認可幼稚園にも従来の千円から一



秘書又七がら

三月二十五日 市議会の委員が開催されているため、庁内で待機。この間市議、東葛共済専理事、その他来客しきり。応接に暇なし。

二十八日 前日の徹夜議会の疲れもみせず定刻に登庁。各部長に昨日までの議会に対する労をねぎらい、開発公社理事会に出席。

四月一日 四十九年度の始めにあたり職員に対し訓示。昨年度の諸事業推進に対する感謝と新年度の市政推進の指針を述べ、特に一庁内において人間関係を大切に、お互いに協力し合い、公務員としての節度と自覚を堅持し、常に全体の奉仕者として一層の精進を」と強調。

午後六時頃、農業委員松丸悠一氏の家が火事との知らせ。ただちに市長に連絡し、現場にかけつける。「火の回りが早く何も持ち出すことができなかった」と聞き非常に気の毒がり、「できるだけ援助するよう」職員に指示。市長も体面に合はせて着てもらいたい、と自ら背広二着などを届ける。

市民生活優



点から、長期的な展望のもとに、民生福祉政策の一段の「重」と義務教育施設整備、公園緑地、道路、下水道、住宅、清掃などの生活関連整備を最重点として、財源の確保を範囲内で予算の編成をいたしました。

から影響をよぶものと懸念いたしております。このため政府は、財政金融政策を通じて総需要抑制に全力を傾注し、国民生活の安定と福祉の充実に配慮しつつも、総じてきびしい抑制

二保育園を新增設 ねたきり老人用浴槽車も

二つの保育園を新增設し、待機する保育児を収容するため、市制二十周年記念事業として二園を建設する予定です。市南部地区に事業費四千九百八十四万四千六百六十人が収容できる鉄筋二階建ての保育園を新設。また新設保育園用地取得費に一億円を計上。第一保育園の増設には、事業費一億三千二百三十九万四千円を計上。このため、員百人から八百八十人に増員できるようにします。これが完成すると、零歳児保育も実施する予定です。

▽ねたきり老人用浴槽車の購入。日頃入浴する機会が少ないねたきりのお年寄りのために、浴槽をのせたサーレブ車一台を三百五十万円で購入。月二回巡回して衛生管理と健康増進に役立てます。

▽老人福祉センター。総事業費一億五千八百八十五万円で昨年度から二カ年連続で船戸地区に建設中。今年度は七千二百二十一万円を計上。完成は六月末の見込み。

▽近隣センター。地域のコミュニティセンターに鉄筋三階建て、延面積四百五十平方メートルの規模の建物建設を計上。このため、四千五百万円を計上。このセンター内に、老人いこいの部屋、児童図書室、集会所を設ける予定。さらにもう一カ所近隣センターを建設するための用地費七千万円を見込んでいます。その他、米寿を迎えたお年寄りに記念写真の撮影、四カ所の子どもの遊び場、二つの



万一の事故に備えて、今年度は、新入生への交通傷害保険料が全額市費負担されます(写真は二小新入生)

都市計画 画道路整備に五億円

道路の新線改良。日常生活に密接な関係にある道路防塵舗装と下水排水に五億円。道路の新設や拡幅、通学路の整備、立体交差の推進、県道の整備負担金などに合計一億九千四百三十万円の予算を計上。これらの整備とともに交通安全のためにガードレール、カーブ・ミラーの整備に三千万円など総額七億二千四百万円を計上。▽街路事業。都市機能の発揮と

交通の円滑化を図り、あわせて三万都市をめぐり主要街路の整備促進のために、柏駅前線などの用地買収に着手します。また工事が進む北柏住宅公団と北柏駅前区画整理事業の関連事業で、根戸新田宿連寺線の整備を実施します。これらの事業に五億一千七十六万六千円を計上しています。

特別会計の内容

水洗化区域を拡充

下水道

公共下水道の拡張を積極的に図るため、総額十二億二千万円を計上。主な事業では、手賀沼流域下水道各戸が幹線に接続する区域の工事、新しく北柏公団の関連事業として公共下水道と都市下水道工事を実施。さらに水洗化を普及促進するため下水道事業の拡充を図ります。

工事本格的に着手

北柏駅南口土地区画整理

五十二年三月末の完成をめざして、本格的な工事にはいっている。北柏駅南口土地区画整理は、今年度が継続四年度。第一地区の街路築造工事や地下埋設管工事、また

国民健康保険

今年度から助産費の補助が、い

市南北部に給水へ

第三次拡張始まる

上水道

北千葉水道企業団からの受水による全域給水と、給水量の増大をめざして、第三次拡張事業に着手します。

さらに市南部と市北部両地区のまだ給水していない区域への配水を計上しています。

市内の駅に自転車置場

▽自転車置場の設置。最近自転車が増え、通勤通学や買物の足として見直されてきています。いままで柏駅東西口付近に設けられていたが、今年度は、市内各駅周辺に設置してある自転車置場を収容するため自転車置場を設置します。このため用地の確保とその整備に二百二十万を計上しています。

▽新入学生児童へ交通傷害保険料を全額公費負担。こし小学校へ入学した全児童に交通傷害保険料一人当たり三百六十円を公費で負担(従来六十円)します。このための経費百五十九万五千円を計上。▽住民票などの交付取次所の新設。柏駅にあった行政連絡所が閉鎖したため、市民の利便を考え市内のたばこ店など五カ所に取次店

市民の駅に自転車置場

住民票取次所も

総務費

▽自転車置場の設置。最近自転車が増え、通勤通学や買物の足として見直されてきています。いままで柏駅東西口付近に設けられていたが、今年度は、市内各駅周辺に設置してある自転車置場を収容するため自転車置場を設置します。このため用地の確保とその整備に二百二十万を計上しています。

▽新入学生児童へ交通傷害保険料を全額公費負担。こし小学校へ入学した全児童に交通傷害保険料一人当たり三百六十円を公費で負担(従来六十円)します。このための経費百五十九万五千円を計上。▽住民票などの交付取次所の新設。柏駅にあった行政連絡所が閉鎖したため、市民の利便を考え市内のたばこ店など五カ所に取次店

を計上しています。

柏のむかし

古城址と地名

私たちの郷土には古城址の言い伝えが数多く残っています。城といえは、堀をめぐらした石垣のある、天主閣のある威風堂々のものを思い浮かべるかたが多いでしょう。しかし、このような城が造られるのは、鉄砲が伝来する、十六世紀にはいつからかのこと。ここで、わざわざ「古」をつけたのは、中世時代(十二世紀末から十六世紀後



地元の信仰を集めている香取神社

半)の城址(館(やかた)といはる。猪ノ山も同じようにいつの時代とは伝わっていません。ただ江戸時代以前であることは確かです。大青田地区に猪ノ山城(?)という城があり、小字の猪ノ山や城ノ越(じょうのこし)は、これらから起ったといわれてきました。この伝説の城も、今度ようやく陽の目を見ることになりました。

中世の城址を証明するものに、一般的に空堀と土塁があり、猪ノ山に残っている数メートルの凹凸は、ほぼこれにちがいないだろうと判断され、

たのか。(市史編さん係)

ホームヘルパー募集

市で、ねたきりのお年寄りや体の不自由な人をお世話するホームヘルパーを募集しています。特に資格は必要としませんが、年齢は三十歳から四十歳まで、この仕事に熱意のあるかたとなっています。給与など詳しくは市役所福祉事務所係(内線三三三)までどうぞ。

